

教科名	国語	科目名	国語特講	学年	1年	単位数	1
準教科書	高等学校現代の国語(数研出版) 高等学校言語文化(数研出版)		副教材	「わかる、とける現代文解法のテクニック1」 「高等学校言語文化準拠ワーク」 「これでわかる明快古典文法」「体系漢文」			

1 担当者からのメッセージ

『国語』は全ての科目の基礎です。様々なジャンルの評論文の読解と資料の解析を通して、「読む能力」「書く能力」の伸長に重点を置きます。自己の思考等を文章化する力を養います。世の中の問題と自分自身を結びつけて考える思考力を養いましょう。

また、授業で学んだ古文や漢文の基礎知識をより多くの文章を読む中で、使いこなせるようにしましょう。自分自身の文化のルーツはどこから来ているのか、自国の文化についてより深く学んでみませんか。

2 学習の到達目標

評論文読解・資料解析

- ・文章を読むための語彙や接続詞、構成、資料の読み取り方法を理解する。(知識・理解)
- ・根拠に即して、問いの解答を導き出し、文章化できる。(思考力・判断力・表現力)
- ・学習課題に沿って、自分の考えを文章化しようとしている。(主体的に学習する態度)

古文・漢文

- ・古典を読むために必要なきまり、古典特有の表現を理解する。(知識・理解)
- ・根拠に即して、問いの解答を導き出し、文章化できる。(思考力・判断力・表現力)
- ・学習課題に沿って、自分の考えを文章化しようとしている。(主体的に学習する態度)

3 学習計画

		単元名(学習項目)	学習内容(ねらい)
前期	前期 中間	評論文読解(基礎) 資料解析	・様々なジャンルの評論文を読むことで、社会への関心を深め、「読むこと」に応用する。
	前期 期末	評論文読解(基礎) 古文読解	・資料の種類と読み取り方を理解し、「書くこと」に応用する。 ・様々なジャンルの古文を読み、学んだ知識を文章の中で使いこなし、「読むこと」に応用する。
後期	後期 中間	評論文読解(応用) 資料解析	・様々なジャンルの評論文を読むことで、社会への関心を深め、「読むこと」に応用する。
	学年 末	評論文読解(応用) 漢文読解	・資料の種類と読み取り方を理解し、「書くこと」に応用する。 ・様々なジャンルの漢文を読み、学んだ知識を文章の中で使いこなし、「読むこと」に応用する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・語彙や漢字、文法や句法など、文章を読み解くための基礎的な力を身につけることができる。	・問いに対して、自ら思考し、条件に合わせて文章化できる。 ・資料から必要な情報を取り出し、文章等と比較してまとめられる。	・出席状況 ・考えを文章化しようとする態度

5 評価方法

計35時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、確認テストの成績、宿題などの課題、出席状況や学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…20% 思考・判断・表現…40% 主体的に学習に取り組む態度…40%